

神経研究の進歩 総目次

1956年～1970年（1巻1号～14巻3号）

- 1巻1号 '56年1月
神経系疾患の診断法（Ⅰ）
- 1巻2号 '56年4月
神経系疾患の診断法（Ⅱ）
- 1巻3号 '56年8月
代謝障害と神経疾患（Ⅰ）
- 1巻4号 '56年12月
代謝障害と神経疾患（Ⅱ）
- 2巻1号 '57年4月
脳の生理に関するシンポジウム
- 2巻2号 '57年10月
脳腫瘍
- 2巻3号 '58年3月
第1回国際神経科学会展望（Ⅰ）
- 2巻4号 '58年5月
第1回国際神経科学会展望（Ⅱ）
- 3巻1号 '58年10月
第1回国際神経科学会展望（Ⅲ）
- 3巻2号 '59年1月
肝脳疾患（Ⅰ）
- 3巻3号 '59年4月
肝脳疾患（Ⅱ）・小脳
- 3巻4号 '59年9月
錐体外路系（Ⅰ）
- 4巻1号 '59年11月
錐体外路系（Ⅱ）
- 4巻2号 '60年1月
展望・脊髄血管障害例
- 4巻3号 '60年8月
神経化学懇話会
- 4巻4号 '60年8月
興味ある症例の臨床と病理
- 5巻1号 '60年10月
第1回神経病理懇話会
- 5巻2号 '61年5月
脳血管性障害（Ⅰ）
- 5巻3号 '61年9月
脳血管性障害（Ⅱ）
- 5巻4号 '61年12月
脳血管性障害（Ⅲ）・精神薬理
- 6巻1号 '62年3月
脳炎・膠質細胞（第2回神経病理懇話会）

- 6巻2号 '62年7月
小児神経病学
- 6巻3号 '62年9月
第4回神経化学懇話会特集号
- 6巻4号 '62年11月
神経解剖
- 7巻1号 '63年1月
脳腫瘍（第3回神経病理懇話会）
- 7巻2号 '63年3月
神経疫学・診断検査法
- 7巻3号 '63年6月
脳研究のあゆみ
- 7巻4号 '63年8月
第5回神経化学懇話会特集号
- 8巻1号 '64年1月
末梢神経（第4回神経病理懇話会）
- 8巻2号 '64年4月
奇形性神経疾患
- 8巻3号 '64年7月
第6回神経化学懇話会特集号
- 8巻4号 '64年11月
視床—構造・機能・臨床
- 9巻1号 '65年3月
蛍光抗体法とVirus性脳脊髄炎
- 9巻2号 '65年7月
代謝性神経疾患
ミオパチーの疫学と臨床
- 9巻3号 '65年9月
第7回神経化学懇話会特集号
- 9巻4号 '65年12月
神経シンポジウム
- 10巻1号 '66年3月
脳のシンポジウム
10巻1号まで売切れになっています。
- 10巻2号 '66年7月 ￥1,000
第8回神経化学懇話会特集号
- 10巻3号 '66年10月 ￥1,000
脳のシンポジウム
- 10巻4号 '66年10月 ￥1,000
第7回神経病理学会特集号
- 11巻1号 '67年3月 ￥1,000
いたみ
- 11巻2号 '67年8月 ￥1,250
日本脳炎

11巻3号 '67号10月 ¥ 1,250

脳のシンポジウム

11巻4号 '67年12月 ¥ 1,250

第8回神経病理学会

12巻1号 '68年4月 ¥ 1,900

精神薄弱

12巻2号 '68年8月 ¥ 1,250

脳研究の進歩

12巻3号 '68年10月 ¥ 1,500

てんかん

12巻4号 '68年12月 ¥ 1,500

パーキンソニズム

13巻1号 '69年4月 ¥ 1,500

中毒性脳障害

13巻2号 '69年6月 ¥ 1,500

神経病理

13巻3号 '69年11月 ¥ 1,500

神経研究の方法論—その新しいアプローチ—

13巻4号 '70年3月 ¥ 1,500

シナプス

14巻1号 '70年4月 ¥ 1,700

脳のシンポジウム

14巻2号 '70年7月 ¥ 1,700

神経病理

'70年11月 第14巻 第3号 1,700円

【特集】筋無力症

帯状疱疹髄膜脳炎の経過中に発生し

た筋無力症候群の1例……………冷牟田英三・他

周期性四肢麻痺症状と筋無力症状を

合併せる症例……………平山恵造・他

膵エキスの重症筋無力症に対する効

果について……………高岡善人・他

周期性四肢麻痺の発生機序に関する

考察……………大塚正徳

Myasthenia Gravis at the University

of Michigan Medical Center…………Russel N. DeJong

重症筋無力症と橋本病を合併せる1

例：自己免疫機序についての1考

察……………井形昭弘・他

胸腺腫を伴う重症筋無力症患者にみ

られた非腫瘍性胸腺組織内胚中心

形成の問題……………土屋雅春・他

筋萎縮を伴う重症筋無力症（いわゆる

Osserman-V型）の臨床病理……………宇尾野公義・他

眼筋の電子顕微鏡的研究：Ⅱ重症筋無

力症患者の外眼筋所見……………崎元卓・他

ヒト外眼筋の微細構造上の変化，とく

に ring band, rodlike structure お

よび satellite cell などについて……………向野和雄

重症筋無力症における Calcium-effec-

tive state の生理・薬理学的検討……………高守正治・他

小児期神経・筋疾患における Waning

および Waxing 現象……………瀬川昌也・他

種々の疾患における Myasthenia に類

似の電気生理学的異常について……………里吉宮二郎・他

【特集】医学における霊長類の研究

はじめに……………近藤四郎

現存霊長類の概観を試みる……………江原昭善

霊長類の適応と社会構造……………杉山幸丸

遺伝的多型と霊長類……………尾本恵市

マカカ属サルの血液成分多型につい

て……………石本剛一

サルにおける神経生理学的研究につ

いて……………藤森聞一

サルと運動機能の神経生理学的研究

……………久保田競

感覚生理学でのサルの意義……………酒田英夫

サルにおける実験神経学（Ⅰ）：小脳

症状の再現について……………榎林博太郎・他

薬理学におけるサル実験の有用性……………城戸良之助

薬理学とサル……………柳田知司

サルの脳の急性実験についての経験

より……………高岡淑郎・他

慢性状態でニューロン活動を記録す

るための簡易モンキーチェアの作

り方……………酒井正樹・他

【原著】

わが国の多発性硬化症患者群の疫学

的および統計的研究……………黒岩義五郎・他

頭部外傷後遺症に関する臨床的研究：

特に症例の統計的観察と急性期治

療との相関……………米山幸作

多発性硬化症の剖検例……………山口国太郎・他